

2019年3月期第2四半期 決算IR説明会 質疑応答概要

株式会社メイテック

1. 日 時 2018年11月6日(火) 16:00~16:40

2. 場 所 コンファレンススクエア Mプラス 10F

3. 質 疑 応 答

質問 販管費について、期初ではエンジニアと営業職をしっかりと採用するという計画でしたが、メイテックの上期販管費が計画を下回った理由は、販管費を使わなくても採用できるということなのか、あるいは十分に使えていないということなのか、教えてください。また、下期の販管費の計画を見直していませんが、採用関連費で使うという説明があったので、考え方について教えてください。

回答 上期の販管費が計画を下回ったのは、結果として採用計画の人数に至っていないというのが大きな要因です。当社の採用方針は、技術職・エンジニアだけでなく、営業職や間接職全体についても、企業の競争優位性を高めていける人材を採用することとしていますので、それに見合った人材の採用に至らなかったということです。また、下期の採用計画も変更していませんので、下期の販管費の計画も見直しはしていません。

質問 メイテックの2019年4月入社の内定者数が424名とのことで、ちょっとずつですが年々ペースが上がってきているように見受けられます。新卒採用がうまくいっている要因があるのであれば教えてください。

回答 エンジニアになって新しいものづくり、技術に携わりたいという方の中で、メイテックグループに採用されることで「雇用を安定させながら、色々な職種、製品分野、技術に携われる」という働き方の魅力が、一定程度ご理解いただいているのだと思っています。また、最近では、大学の先生も民間の技術系出身の方が増えており、以前当社のエンジニアと一緒に開発に携わったことがある方もおられ、当社に対する信頼や、他とは違うということを学生に対してすすめていただけるケースも増えてきました。多くの方がエンジニアとして、メイテックグループの中でスタートアップし、今後の日本の企業、そしてものづくりを牽引できるようなエンジニアとして成長できるような経営を行っていることを、今後も訴求していきます。

質問 業種別売上高(説明資料 22P)について、自動車関連の伸びが顕著というお話がありましたが、自動車のどの分野でニーズが高いのでしょうか。

回答 自動車関連では「電動化」、「自動運転」、「コネクテッド」といった3つの大きなキーワードがあります。その3つのキーワードに基づいた開発のプロジェクトが圧倒的に増えており、且つ、これらにおいて派遣・請負の形態によらず、付加価値の高いクリエイティブな領域でお客様のニーズが増えています。

- 質問** 自動車以外ですと精密機器が少し伸びていると思いますが、これについてご説明いただけますか。
- 回答** 世の中の技術開発のテーマとして、「AI」、「IoT」、「ロボティクス」、あるいは「フィンテック」などのキーワードがございます。また、今は「自動化」よりもさらに生産性を高める「無人化」に向けた取り組みもございます。
- 様々な技術の変化がある中で、新しいキーテクノロジーと従前からのコア技術を融合させられる当社の強みを活かし、お客様のニーズにお応えする取り組みをしています。
- 質問** 時間外労働の減少により、稼働時間が低下傾向にあるようですが、今がボトムになるのか、もしくは今後も継続的に下がっていくのか、どのように見ているのか教えてください。
- 回答** 今年5月の決算発表では、稼働時間は下げ止まりという感触があるをご説明申し上げましたが、その考えは変わっていません。ただし、この上期につきましては、台風等の自然災害が稼働時間を押し下げる大きな要因でした。そのような状況を踏まえつつ、今後も注視していきたいと考えています。
- 質問** 製造業の技術開発投資はさらに伸びていくというよりも、今後も高いレベルで横ばいに推移すると見たほうがよいでしょうか。一時の人材不足の逼迫感は緩和されつつあると見てよいのでしょうか。
- 回答** 当社の事業は、作業領域において単なる役務の提供を行う人材サービスとは異なり、お客様の設計、製品開発にあたって、技術を融合させて、アウトプットを高めていく技術提供サービスですので、仕事の量は減ることはないと思っています。
- したがって、今後景況の変動が多少あっても、当社に大きな影響は無く、技術力を磨いて確実に成長していくことが大事なのだと考えています。

以上